ラボ・センター紹介

農都共生ラボ

http://lab.sdm.keio.ac.jp/nouto_lab/

(AGRI (Agricultural) Laboratory)

担当教員: 前野 隆司 教授、林 美香子 特任教授

「農都共生ラボ」は、横断研究型ラボの一つとして、2008年の開学と同時にスタートしました。農都共生は、「農村と都市と共生」の略語で、地域再生、地域活性化のための概念です。「農都共生ラボ」は、農都共生による地域再生に関する研究・普及・啓発活動の実施を目指し、農林中央金庫の寄付講座として活動しています。前野隆司教授、林美香子特任教授ほかの教員が参加しています。主な活動を紹介しましょう。

(1) 農都共生による地域再生に関する研究

林特任教授が、札幌在住でキャスターとして活動をしているため、月に1～2度、ゼミを開催。ゼミ参加者は、多様で、修士・博士課程の学生のほか、SDM研究所研究員も多く、活発な研究が行われています。

耕作放棄地、植物工場、アグリビジネスなどのテーマを、SDMの手法を駆使して、局所解ではなく、全体最適解を求める研究を行っています。

(2) 農都共生推進のための普及・啓発に関する活動

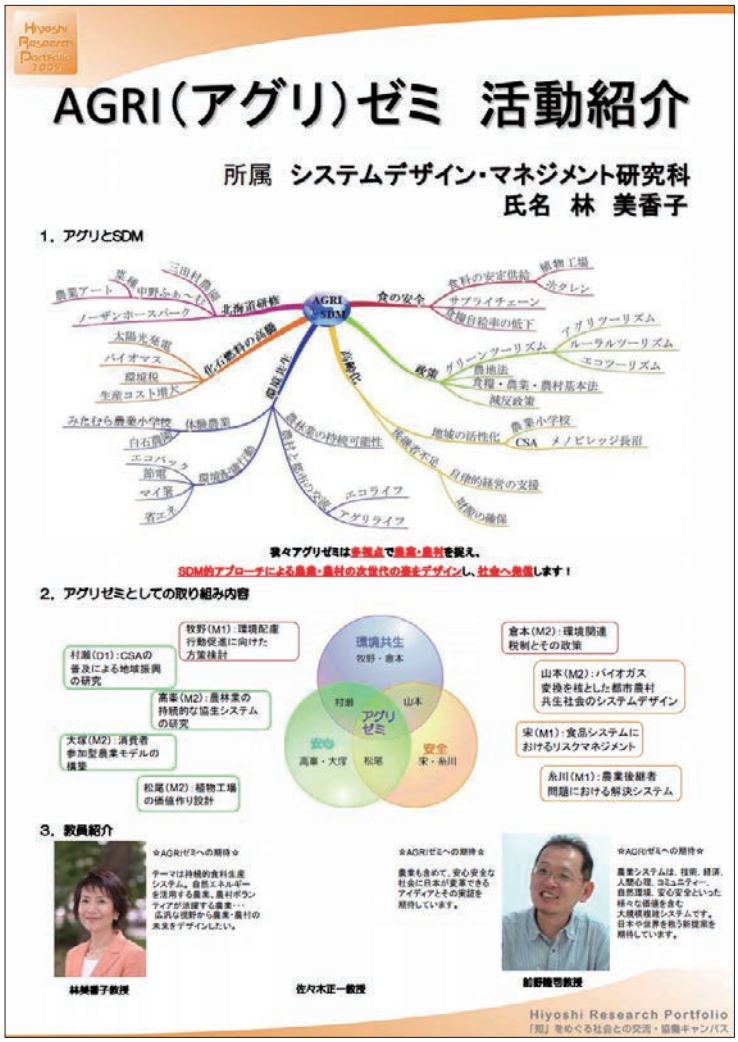
毎年、フォーラムを開催していますが、今年3月には、東京で、農業・農村・地域活性化セミナーを実施しました。また林特任教授が「農都共生のヒント」(寿郎社刊)、「農業・農村で幸せになろうよ」(安曇出版)などを出版している他、毎年、「農都共生ラボ」の報告書を発行しています。

(3) 農業・農村での調査研究

毎年夏には、農業・農村視察をしていますが、昨年は、帯広市役所の招きにより、十勝の農場や農業関連施設、地域づくりを視察し、調査を行いました。最終日には、「十勝の魅力を発掘する」をテーマに、市役所や地元住民の参加も得て、SDM手法によるワークショップと発表会を開催。帯広市役所や地元企業から、「今後の参考にしたい」と、好評を頂きました。

今年は、SDM研究所ソーシャルデザインセンター小布施分室とともに、長野県小布施町で調査を行う予定です。

「農都共生」や「地域活性」に興味のあるみなさん、ぜひ、SDMの農都共生ラボの活動にご参加ください。



▶ http://www.sdm.keio.ac.jp/pdf/agrizemi.pdf

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所
〒223-8526　神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1　慶應義塾大学　協生館
Tel : 045-564-2518　Fax : 045-562-3502　E-mail : sdm@info.keio.ac.jp

SDM System Design and Management